

仕 様 書

1. 対象業務

西千葉・亥鼻・松戸・柏の葉キャンパス他における自動販売機（以下「自販機」という。）による飲料（缶・ペットボトル・びん）及びフード類の商品の販売、運営業務を包括的に実施する業務とする。

①自販機の設置場所等について

- ・詳細は別添「千葉大学自動販売機設置予定一覧表」のとおり
- ・本学の指定する位置に設置する事とし、設置に際して電気工事等が必要となる場合、設置費用は設置運営業者が負担するものとする。
- ・自販機設置後、増設、移設、撤去を要請する場合がある。

②販売商品について

- ・販売商品は、設置運営業者の提案によるものとするが、利用者の嗜好に幅広く対応できる品揃えによるものとし、飲料自販機については、清涼飲料メーカー主要10社の内、5社以上の取扱が可能であること。
- ・1台の中に複数メーカーの商品をセットできる自販機の設置が可能であること。
- ・1台当たりにおける取扱アイテム数は、コラム総数の1/2以上とすること。
- ・季節や新商品の商品入替を行うとともに、利用者からの要望を集め、品揃えに反映させること。
- ・自販機設置後、利用者から販売商品の追加・変更等について要望がある場合は、本学と協議の上、速やかに対応すること。

【備考】主要10社とは、アサヒ飲料、伊藤園、大塚グループ、カゴメ、キリンビバレッジ、サントリーホールディングス、ダイドードリンコ、日本コカ・コーラ、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、ヤクルト本社（五十音順）をいう。

③備品について

- ・各自販機置場に隣接して設置する缶、ペットボトル等の回収ボックス類は設置運営業者の負担で設置し、修理等については設置運営業者の負担で対応すること。

④廃棄物の処理について

- ・各自販機置場に設置する回収ボックス類内の廃棄物は、全て設置運営業者が責任を持って定期的に回収し、回収した缶・ペットボトル等は各自治体の定めるリサイクル処理を実施するものとする。
- ・設置運営業者の設置した自販機以外にて購入された缶・ペットボトル等が回収ボックス類内に混入していた場合も同様に処理するものとする。

⑤自販機設置に伴う施設等の使用について

- ・本学が業務委託契約により委託するものであり、使用料は徴収しない。

⑥自販機の水道光熱費について

- ・自販機の設置・運営により発生する水道光熱費は設置運営業者が負担するものとし、本学が請求する金額（毎月のメーター検針値に本学で算出した単価を乗じて算定）を本学指定の口座に振込むものとする。なお、銀行口座振込み手数料は設置運営業者の負担とする。

⑦販売価格、販売手数料、設置協賛金について

- ・販売価格は、標準小売価格を超えない価格を提案するものとする。
- ・本学へ支払う手数料については販売手数料、設置協賛金の何れか、又はその両方とし、支払い条件等については、本学と協議の上、決定するものとする。

⑧契約終了時について

- ・契約終了時、設置運営業者の費用負担にて自販機等を撤去し、原状に復すものとする。ただし、設置運営業者が設置した電気設備やテント等の既存設備等については、本学が承認した場合は現状有姿にて本学に引き渡すことができるものとする。
- ・旧設置運営業者が設置した基礎及び電気設備等の既存設備については、旧設置運営業者との交渉により引き継ぎを行うことは差し支えないが、その際、当該設備は新設置運営業者が設置したものとみなし、契約終了時に原状に復すものとする。

⑨賠償責任について

- ・販売商品（衛生管理に起因するものを含む。）、自販機に起因する事故等が発生し、本学及び第三者へ損害を与えた場合は、速やかに誠意を以って対応するとともに、損害の賠償は設置運営業者の責任において全て行うものとする。

⑩設置予定時期について

- ・令和8年4月1日から順次稼働できるように設置するものとする。なお、自販機設置スケジュール案を財務部財務企画課へ提出し、協議の上、設置すること。

⑪その他

- ・自販機のデザイン、色彩については統一的なものとする。
- ・自販機設置のために新規に必要となる電気設備は、設置運営業者が整備するものとする。
- ・給排水を必要とする自販機を設置する場合は本学と協議するものとする。
- ・一部の自動販売機については、購入額の一部が購入者から千葉大学基金への寄附となる商品を販売することができるものとする。こと。（別添「千葉大学自動販売機設置予定一覧表」参照）
具体的には、該当自販機の取り扱い商品の一部について、寄附金分として販売価格に10円を上乗せし、売上本数に応じた金額を千葉大学基金へ支払うものとする。
- ・自販機の売上本数、売上実績額等については、毎月、前月分を加工が可能な電子媒体にて財務部財務企画課へ提出すること。
- ・本仕様書について定めのない事項については、本学と協議の上、決定するものとする。

2. 業務の取組方法（必須の要求要件）

①商品の補充体制

- ・商品が品切れとなった際は速やかに補充すること。特に、人気商品は早めに補充し、学生の運動活動後などの自販機利用が急増する時間帯に商品の冷却が間に合わないことがないように留意すること。

②衛生管理体制

- ・販売商品の賞味期限切れが生じることのないよう注意すること。万一、賞味期限切れとなったものは直ちに回収し、廃棄処分すること。

③代金の回収、釣り銭の補充体制

- ・代金の回収及び釣り銭の補充は西千葉キャンパス、亥鼻キャンパス、医学部附属病院については1日1回以上、松戸キャンパス、柏の葉キャンパスについては週2回以上、長沼原地区については週1回以上実施すること。ただし、釣り銭の不足等について苦情・要望がある場合は、速やかに対応すること。

④空き容器等廃棄物の回収体制

- ・空き容器等廃棄物の回収は西千葉キャンパス、亥鼻キャンパス、医学部附属病院については1日1回以上、松戸キャンパス、柏の葉キャンパスについては週2回以上、長沼原地区については週1回以上実施すること。ただし、回収について苦情・要望がある場合は、速やかに対応すること。特に夏は自販機の利用が増えるため、回収ボックス類から空き容器が溢れる事がないよう注意すること。

⑤自販機周辺の清掃体制

- ・空き容器等の回収の際に自販機本体及び自販機周辺の清掃を実施すること。ただし、清掃について苦情・要望がある場合は、速やかに対応すること。

⑥機械のメンテナンス、点検体制

- ・機械のメンテナンス、点検を定期的 to 実施し、故障等が生じないように配慮すること。万一、故障した場合は、速やかに対応すること。

⑦安全管理体制（設置時等）

- ・自販機を設置する際には据付状況を十分に確認した上で安全面を考慮すること。特に、設置場所の状況に応じて自販機本体の転倒防止、耐震対策を行うこと。

⑧クレーム対応等への体制

- ・クレームの連絡先は自販機に明示することとし、自販機の故障や商品の品切れ、投入ミスによる誤販売、釣り銭が出ない等のクレームを受けた場合は、速やかに対応すること。
- ・クレームを受けた場合に担当者を早急に現場に派遣することのできる体制を整えること。

⑨バリアフリー対応

- ・本学よりバリアフリータイプの自販機設置要請がある場合は、本学指定の場所へ設置すること。

⑩自販機に搭載する設備等

- ・設置する自販機（フード類を除く）については、全てキャッシュレス決済が可能なものとする。なお電子マネーの種類や決済端末の指定はしない。ただし、本学の要望があった際は個別に対応すること。
- ・上記の設備等の設置及び維持管理等については設置運営業者が行うこととし、それらにかかる費用（設置費、維持管理費、諸経費等）は設置運営業者が全額負担すること。

⑪利用増加に向けた取り組み

- ・自動販売機利用の増加に向けた、販売促進業務を実施すること。

- ・利用実績に対する分析や以降の事業計画について、半年毎に財務部財務企画課へ報告すること。

⑫環境への対応

- ・本学では、環境方針（千葉大学HP参照 <http://www.chiba-u.ac.jp/>）を定め多様な環境への取り組みを実施しているため、提案機種は旧モデルの再整備機ではなく、省エネ性能に優れた最新モデルの自販機を設置すること。また、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（グリーン購入法）に適合する機種とし、設置後においても同様とすること。
- ・飲料空き容器のリサイクル体制が整備されていること。

⑬災害発生時の協力体制

- ・災害発生時に本学が飲料等の提供を必要と判断した場合、設置運営業者が所有する自販機内の全ての飲料等を提供する協力体制が取れること。

⑭自販機の増設、移設及び撤去への対応

- ・自販機の増設、移設及び撤去について、本学から要望がある場合は財務部財務企画課と協議の上、誠意を持って対応すること。

⑮自販機に関する一切の業務について

- ・その他自販機に関する事については、全て設置運営業者の責任において実施すること。

千葉大学自動販売機設置予定一覧表

区分	No	設置施設名	場所	缶PET機	フード類	備考 (サイズは参考)	見込年間売上本数(令和7年度)
西千葉	①	本部棟	建物内	1		サイズ:132.1×83.7	5,900
	②	本部棟脇	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:118.5×84.9	3,400
	③	総合学生支援センター	建物外	1		大型機、千葉大学基金対応 サイズ:115.9×72.5	3,500
	④	大学会館	建物外	2		千葉大学基金対応 サイズ:118.5×73.1	22,100
	⑤	教育学部1号館	建物内	1		サイズ:99.9×75	4,800
	⑥	教育学部視聴覚教室(大講義室)	建物外	1		(新設)	—
	⑦	総合校舎C号館	建物外	2		千葉大学基金対応 サイズ:132.1×86.4	16,400
	⑧	体育管理施設	建物外	1		大型機、千葉大学基金対応 サイズ:132.1×83.7	8,000
	⑨	多目的コート	建物外	1		大型機 サイズ:115.9×80.8	2,800
	⑩	理学部3号館	建物内	1		千葉大学基金対応 サイズ:132.1×83.7	6,600
	⑪	理学部1号館	建物内	1		サイズ:115.9×72.5	4,400
	⑫	工学部11号棟	建物内	3	1	千葉大学基金対応(2台) 缶PET機サイズ:132.1×83.7 フード機サイズ:85.7×83.7	20,300
	⑬	工学部5号棟	建物内	2	1	千葉大学基金対応(1台) 缶PET機サイズ:135.5×85.5 フード機サイズ:85.7×83.7	10,600
	⑭	環境リモート共同棟	建物内	1		サイズ:99.9×69	1,300
	⑮	第2体育館	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:115.9×72.5	6,400
	⑯	楓ホール	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:132.1×73.8	9,300
	⑰	第1体育館	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:132.1×83.7	15,600

	⑮	総合校舎E号館(渡り廊下)	建物内	1		千葉大学基金対応 サイズ:115.9×83.3	4,400
	⑯	備蓄倉庫	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:115.9×80.8	4,400
	⑰	サークル棟	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:115.9×75	7,800
	⑱	国際教育センター	建物内	1		(新設)	—
	㉒	法政経学部棟	建物内	1		(新設)	—
	㉓	IMO棟2	建物外	1		サイズ:116.1×70	2,400
	小 計			28	2	千葉大学基金対応:計17台	160,400
亥鼻	①	医学部サークル会館前	建物外	1		サイズ:115.9×72.5	1,600
	②	医学部サークル部室前	建物外	1		サイズ:118.5×75.6	7,300
	③	医薬系総合研究棟Ⅰ	建物内	3	2	千葉大学基金対応(1台) 缶PET機サイズ:135.5×85.5 フード機サイズ:85.7×83.7	16,500
	④	医薬系総合研究棟Ⅱ	建物内	2	1	千葉大学基金対応(1台) 缶PET機サイズ:135.5×85.5 フード機サイズ:85.7×83.7	13,100
	⑤	亥鼻体育館	建物内	1		サイズ:99.9×75	3,500
	⑥	亥鼻地区福祉施設	建物外	1		サイズ:118.5×73.1	5,600
	小 計			9	3	千葉大学基金対応:計2台	47,600
医学部 附属病院	①	にし棟	建物内	12		バリアフリー対応 サイズ:118.5×86.4 ※一部87×73	112,900
	②	ひがし棟	建物内	9		バリアフリー対応 サイズ:118.5×86.4 ※一部87×65.3	57,700
	③	みなみ棟	建物内	1		バリアフリー対応 サイズ:99.9×54.1	4,100
	④	外来診療棟	建物内	6		バリアフリー対応 サイズ:69.9×74	43,800

	⑤	立体駐車場	建物外	2		サイズ:87×70.2	9,800
	⑥	新中央診療棟	建物内	6		サイズ:116×78.1	27,300
	⑦	救急外来棟	建物外	1		サイズ:118.5×86.4	1,400
		小 計		37	0		257,000
松戸	①	緑風会館	建物外	3	1	大型機、千葉大学基金対応(2台) 缶PET機サイズ:116×75 フード機サイズ:85.7×83.7	13,900
	②	園芸学部E棟	建物外	1		サイズ:99.9×73.7	3,400
		小 計		4	1	千葉大学基金対応:計2台	17,300
柏の葉	①	管理研究棟	建物内	1		千葉大学基金対応 サイズ:99.9×73.7	2,500
	②	研修施設	建物外	1		千葉大学基金対応 サイズ:115.9×80.8	5,200
		小 計		2	0	千葉大学基金対応:計2台	7,700
長沼原	①	特別支援学校校舎管理棟	建物内	1		サイズ:118.5×84.9	2,100
		小 計		1	0		2,100

合 計	81台	6台	
総合計	87台		千葉大学基金対応:計23台

※各自動販売機については、電子決済対応とする。